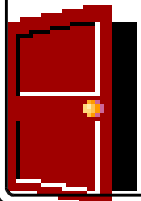


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年10月14日 文責 渡邊

二学期がスタートしました！ 読書の秋ですね！ また、みんなで読書活動に取り組みましょう！

二学期が10月11日（火）よりスタートしました。秋という気持ちのよい季節の中でのスタートです。どうか二学期も一学期同様に『読書活動への扉を開く』をお読みいただき、感想や意見を寄せていただきますようお願いいたします。

さて、今回は、10月13日（木）に3年生の児童を対象に開かれた「ふうせんかづら」の皆さんの読み聞かせの様子を紹介します。

アンデルセン童話より『みにくいあひるのこ』の紙芝居を披露してくださいました。



【作家の紹介】



【読み聞かせの様子】



【読書の大切さについてのお話】

始めに、『みにくいあひるのこ』の作者であるアンデルセンの紹介をしてくださいました。そして、紙芝居の読み聞かせです。とても優しい語りにより3年生はどんどん物語の世界に引き込まれていきました。最後に、秋という心地よい季節に読書活動に励むことの大切さを話してくださいました。学校便り10月号でも載せましたが、良い本との出会いをこの秋にしてもらえたらと願います。

さて、次は図書の紹介です。皆さんは一学期に紹介した榎本博明氏の『□□する子は○がすごい』を覚えていますか？今回紹介する図書は、榎本氏の子供の能力を伸ばすために大切なことを教育心理学の立場から示した「○○がすごい」シリーズの第3弾です。令和4年7月に発行されたものです。

第1弾の『伸びる子どもは○○がすごい』では、今教育界で注目されている非認知能力とは何かを解説し、子供時代に非認知能力を身に付けることの大切さが書かれていました。多くの研究において、子供の頃に、我慢する能力、衝動をコントロールする能力、必要に応じて感情を抑制する能力、自分を動機づける能力など、いわゆる自己コントロール力が高いほど、大人になってから健康度が高く、学歴や収入が高いことが示されていました。

第2弾の『読書をする子は○○がすごい』では、学力の二極化の背景として、ますます深刻化する読解力の問題があり、その克服のためには読書が強力な武器になることが書かれていました。スマホやゲームの普及もあって、子供や若者の読書離れが進行していますが、読書や読み聞かせによって語彙力や読解力が高まることは、多くの研究によって実証されています。

学力を高めるには、非認知能力だけでなく認知能力を高める必要があります。今や単純な文章さえ読解できない中学生や高校生が少なくないことがデータで示されています。だが、読解力は認知能力の中核を占め、国語のみならず、あらゆる科目の学習の成否を大きく左右します。子供時代に読解力を鍛えることができるかどうか、それによって将来の学力が決まってきます。そこで、読書を武器に家庭の言語環境を整えるヒントが示されていました。

そして、今回の第3弾（『勉強できる子は〇〇がすごい』榎本 博明 日本経済新聞出版 2022年7月）では、学ぶ力に焦点づけ、その重要な要素といえるメタ認知とは何か、メタ認知が学習活動をどのように促進するのか、メタ認知の欠如が学習活動をどのように阻害するかについて解説され、子供の頃からメタ認知能力を身につけておくことの大切さが書かれています。そして、メタ認知能力を高めるためのヒントが示されています。（本書あとがき参照）

本校では、榎本氏が推奨する「メタ認知能力」の育成にすでに取り組んでいます。（「メタ認知能力」とは、どういう力をいうのかは次号で説明したいと思います。）

昨日、第1学年の教室で音楽科の研究授業を行いました。「世界に一つだけの わたしの音」をテーマに、江川教諭は、「歌唱」「器楽」「音楽づくり」「鑑賞」を組み合わせた授業を計画し、実践しました。昨日の授業は、「自分たちのテーマに合う音に近づけるためには、どのように演奏するとよいだろう」を学習課題に授業を展開していきました。



【学習課題の提示】



【友達と学び会う姿】



【タブレットを効果的に使う子供】



【子供に寄り添う教師の姿①】



【子供に寄り添う教師の姿②】



【子供に寄り添う教師の姿③】



【振り返る子供の姿①】



【振り返る子供の姿②】



【学んだ成果の発表】

上記の写真に見られるように、子供たちは自分たちが設定したテーマの解決に向けて、友達と協力しながら取り組んでいます。教師は自分の考えを押しつけることは一切しません。子供たちに優しく寄り添い、思いを共有し一緒に考えるスタンスを大切にします。そして、振り返る学習を大切にします。どこを工夫したのか、どこが難しかったのか等を振り返ることで、次への学習に生かすのです。

今回、江川教諭の温かな教室づくりが楽しい音楽の授業につながったのだと思います。これからも桑村小学校は、全校体制で職員研修に努め、子供の思いを大切に楽しい授業づくりから、子供たちの資質・能力の向上に努めていきます。